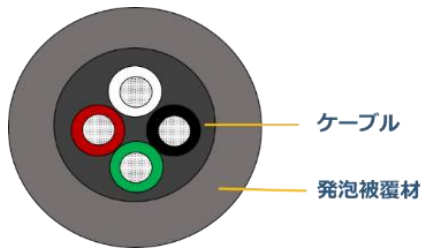


フロートケーブル

Float Cables



これらの課題が挙げられております

- ①ケーブルが海底に沈み、引きずられて破れてしまう
- ②ケーブルが水中で絡まってしまう
- ③浮きを付ける手間がかかる



この課題を解決したのが**フロートケーブル**です。
キャブタイヤケーブル自体を浮かせます!!

- ・ケーブルを発泡被覆材で覆い、ケーブルに浮力を持たせました
- ・河川、海中で使用する海洋工事、河川工事などにご利用できます
- ・泥水の中でも浮かび、災害等の現場でも視認できます

Q

A

発泡被覆材の材質は？

発泡塩ビです。

濡れた場合、加水分解が起こりますか？

濡れても加水分解は起こりません。塩ビは海水に対してほとんど影響がないため、分解反応等は起こりません。

発泡被覆材に水分がしみこむような特性はありますか？

スポンジのように水を吸収する特性はありません。

耐用年数はありますか？

3～5年を想定しています。（ただし、紫外線により発泡被覆材の変色の可能性はありますが品質には問題ございません）

ケーブルに対しての負荷は？

ケーブルの発泡被覆材がプロテクター効果を発揮するため、ケーブル本体にかかる負荷は軽減します。水に浸けている間はフロートケーブルに対し自重が掛からないため、端末部への負荷は軽減できます。

浮力をどのように調整するのですか？

発泡被覆材の材質を変えるのではなく、厚みを変えることによって調整できます。

フロートケーブルのカラーは？

黒色、青色、黄色をそろえています。

活躍するフロートケーブル！

潜水士による
水中溶接作業



水中バックホウの
給電ケーブル



水中ポンプの
給電ケーブル

